

分析テーマ		商店街組合、NPO等： 2) 中心市街地活性化を支える地区交通計画の検討(TMO等)
分析内容		中心市街地の活性化を支える交通対策を検討する。
分析事例	現状での	PT等であり(具体的な提案は少ない)
	行政サイド 事業者サイド	事業者が過去の経営資料を基に検討
分析方法		<p>検討方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地における夜間人口の増加や就業・従業人口の増加による新たな交通需要に基づく交通計画の検討方法を示す。 <p>分析フロー(例)</p> <pre> graph TD A[PTデータ] --> B[将来人口] C[その他データ・資料] --> B D[中心市街地の開発によって見込まれる開発人口] --> B B --> E[発生集中量の推計] E --> F[分布交通量の推計] D --> F F --> G[交通機関別分担交通量の推計] G --> H[配分交通量の推計] H --> I[交通課題の把握と交通対策 ・自動車交通対策 ・公共交通交通対策(鉄道、バス) ・歩行者・自転車交通対策] </pre>
必要データ		PTデータ(将来人口、交通量推計ベースデータ)
留意事項 方向性等		
参考資料		-

(活用事例)

<p>検討事項</p>	<p>中心市街地活性化に伴う交通計画</p>
<p>検討地域</p>	<p>岡崎市</p>
<p>検討調査名</p>	<p>平成12年度岡崎市中心市街地再活性化に伴うまちづくり交通計画調査</p>
<p>検討主体</p>	<p>岡崎市</p>
<p>背景・目的</p>	<p>当該市は、西三河地域の中心都市であるとともに、商業中心地としての役割を担ってきたが、近年のモータリゼーションの進展及びこれに伴う郊外への大型店舗の進出等により、中心市街地の商業機能が弱まり、町の活力が低下していた。 一方、当該市では再活性化拠点事業を計画しており、その整備計画を進める上での道路網や駐車施設等の交通処理計画が必要となった。</p>
<p>検討方法</p>	<p>開発計画に伴う将来交通需要は、PTデータや大規模開発マニュアルを活用し、以下の手順で推計を行っている。</p> <p style="text-align: center;">図 需要推計フロー</p>
<p>検討結果</p>	<p>需要推計結果をもとに、対象地域における各種対応方針（道路網、駐車場整備計画、バスターミナル計画等）を作成。</p>
<p>事業展開 等</p>	<p>関連交通施設の整備プログラムに基づき、事業を推進。</p>

分析結果の例

(1) 駐車場整備計画、バスターミナル整備計画

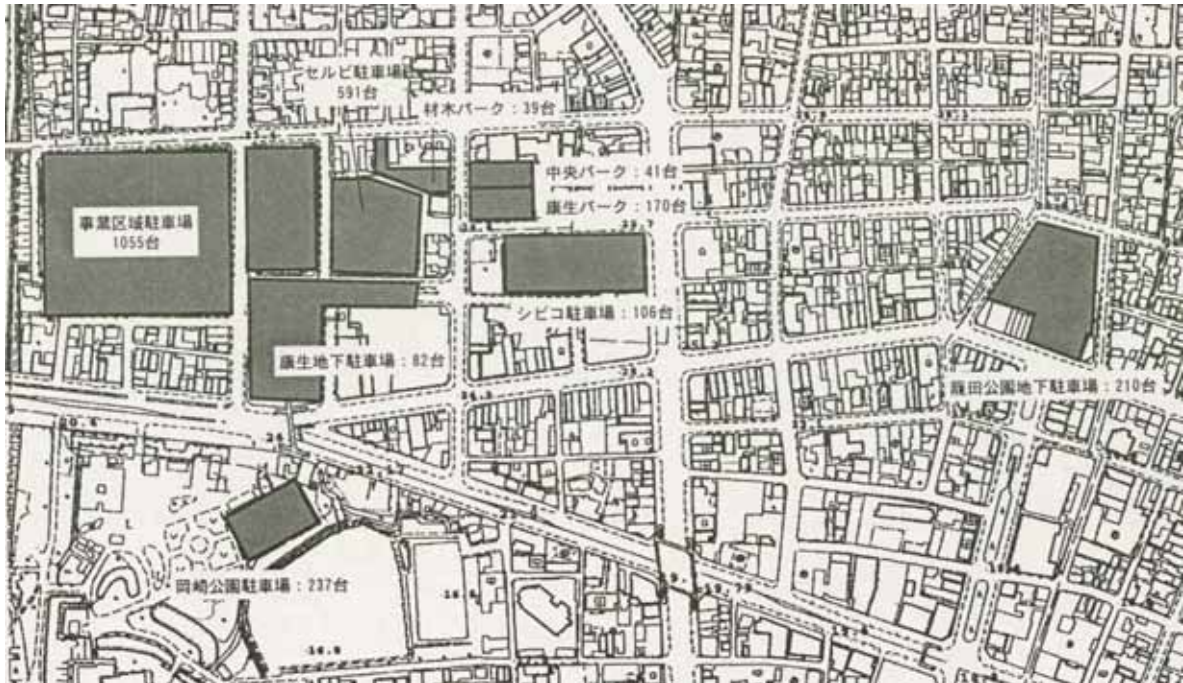


図 駐車場整備計画

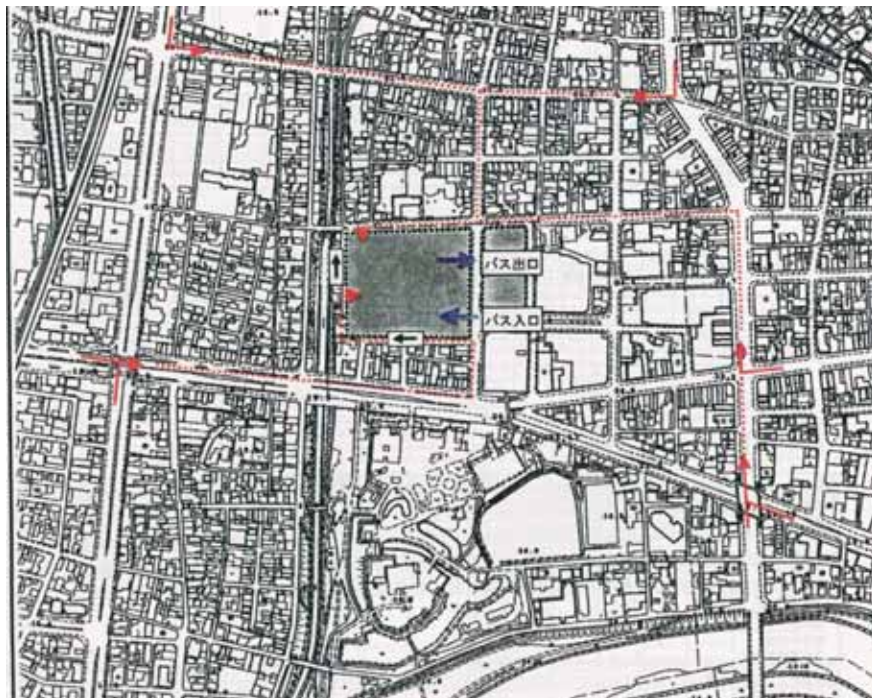


図 バスターミナル計画